

第43回 法政大学 多摩キャンパスコンサート

HOSEI University The 43rd Campus Concert  
多摩キャンパス開設40周年

# 青島広志のおしゃべりコンサート & 法政大学交響楽団 スペシャルコンサート

青島 広志  
〈お話・ピアノ〉



原口 朝子  
〈ソプラノ〉



小野 つとむ  
〈テノール〉



指揮  
内藤 佳有

2024年 11/30 土

開場 13:15 開演 14:00

法政大学多摩キャンパス2号館大教室A棟 (大ホール)

チケット 入場無料・事前予約制 抽選でペア600組1200名様をご招待  
抽選の結果は、チケットの発送をもって発表に変えさせていただきます(11月19日発送予定)。

応募方法 右側のQRコード(グーグルフォーム)でお申し込みください。  
インターネット環境がない場合は、郵便番号、住所、氏名、電話番号、氏名(ふりがな)、来場人数(1通につき2名まで)、「多摩キャンパスコンサート希望」と明記のうえFAXにてお申込みください。  
●応募締切 2024年11月11日(月) 必着  
●応募先 右側のQRコード又はFAX042-783-2043



第43回多摩キャンパス  
コンサート申込QRコード

注意事項 ホール内の飲食はご遠慮願います。未就学児の入場はご遠慮ください。

後援 一般社団法人法政大学校友会

お問い合わせ

法政大学多摩事務部多摩事務課

☎ 042-783-2091

✉ [tamaconcert@ml.hosei.ac.jp](mailto:tamaconcert@ml.hosei.ac.jp)



## 青島広志の50分で駆けぬけるオペラ史

|                                 |                                      |
|---------------------------------|--------------------------------------|
| クラウディオ・モンテヴェルディ(1567-1643)      | オペラ「オルフェオ」(1607)よりトッカータ              |
| ゲオルグ・フリードリヒ・ヘンデル(1685-1759)     | オペラ「セルセ」(1738)より「慕わしい木陰」             |
| ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(1756-1791) | オペラ「フィガロの結婚」K.492(1786)より「さあ、ひざまずいて」 |
| ジュゼッペ・ヴェルディ(1813-1901)          | オペラ「椿姫」(1853)より「乾杯の歌」                |
| ジャック・オффエンバック(1819-1880)        | オペラ「ホフマン物語」(1881)より「森の小鳥は憧れを歌う」      |
| ジャコモ・プッチーニ(1858-1924)           | オペラ「トゥーランドット」(1926)より「誰も寝てはならぬ」      |
| レナード・バーンスタイン(1918-1990)         | 「キャンディード」(1989)より「煌びやかに着飾って」         |
| フランツ・レハール(1870-1948)            | オペレッタ「メリーウィドウ」(1905)より「唇は黙っていても」     |



青島 広志 Hiroshi Aoshima

1955年東京生まれ。東京藝術大学および大学院修士課程(作曲)を首席で修了。これまでに作曲した作品は200曲を超える。ピアニスト・指揮者としての活動も40年を超え、最近ではコンサートやイベントのプロデュースも数多くこなしている。テレビ「題名のない音楽会」「世界一受けたい授業」などに出演。他にもイラストや書籍執筆などの仕事も数多く手がけている。  
東京藝術大学、洗足学園音楽大学客員教授、日本現代音楽協会、作曲家協議会、東京室内歌劇場会員。  
[www.aoshima-hiroshi.com/](http://www.aoshima-hiroshi.com/)



原口 朝子 Tomoko Haraguchi

武蔵野音楽大学卒業。同大学院声楽専攻修了。ローマに短期留学。主な出演は『魔笛』夜の女王、『フィガロの結婚』スザンナ、『ジャンニ・スキッキ』ラウレッタ、『ヘンゼルとグレーテル』グレーテル、『こもり』アデーレ、『泥棒とオールドミス』レティーシャ、『アマールと夜の訪問者』アマール、など多くのオペラに出演。ミサ曲ではモーツァルト『雀のミサ』、フォーレ『レクイエム』などのソリストも務める。音楽劇『お月さまがみていたおはなし』にお月さま役で出演。また、区役所やプラネタリウム、ホテル主催のサロンコンサートなどに出演。合唱指導やヴォイストレーナーなどでも活動。東京室内歌劇場、埼玉オペラ協会、さいたま市音楽家協会各会員。



小野 つとむ Tsutomu Ono

都立八潮高卒。高一の冬、とても可愛らしい先輩に誘われて入った合唱部。これがきっかけとなり、音楽の道を進むこととなる。フォンテックに勤務。ディレクターとしてレコード、CD制作に携わる。偶然にも青島広志氏に見出され、オペラ『黄金の国』(遠藤周作)でオペラデビュー。2001年第12回奏楽堂日本歌曲コンクール歌唱部門第3位入賞。その後、テノール歌手に転職する。オーケストラとの共演も多く、東京フィル、アンサンブル金沢、群馬交響楽団、大阪交響楽団、名古屋フィルほかと共演。テノールとして、童謡からオペラアリアまで幅広いレパートリーを持ち、さまざまな場所にその歌声を提供している。

## ドミトリー・ショスタコーヴィチ (1906~1975) ：交響曲第5番 ニ短調 作品47 (1937)

### 法政大学交響楽団 Hosei University Symphony Orchestra

1921年(大正10年)、創立。初代指揮者瀬戸口藤吉氏(行進曲軍艦=軍艦マーチの作曲者)の指導の下、法政大学音楽部として演奏活動を開始。当初よりドヴォルザークの交響曲第9番「新世界より」、リムスキー=コルサコフの難曲「シェエラザード」初演(学生初演)などを行う。1935年(昭和10年)、瀬戸口氏よりその子弟であり、法政大学出身の、後に作曲家、編曲家としても活躍する作間毅氏へと指揮棒が渡る。戦禍により大学の校舎消失と共に楽器、楽譜等を失う中、1952年(昭和27年)戦後アメリカの軽音楽に刺激されたサークルと共に「オール法政グラウンドコンサート」を開催。その後法政大学管弦楽団と改名。さらに交響楽団へと変遷する。1955年(昭和30年)、コーブランド作曲「戸外の序曲」、シューマン作曲交響曲第4番、1958年(昭和33年)には平井康三郎作曲「箏とオーケストラのための協奏曲」をアマチュア初演。1961年(昭和36年)、法政大学出身で後にNHK交響楽団第1トランペット奏者となる福井功氏(現音楽監督)を常任指揮者として迎える。1974年(昭和49年)、第50回定期を迎え、記念としてベートーヴェン交響曲第9番「合唱付き」を東京文化会館にて好演。1998年(平成10年)第100回定期にはマラー版ベートーヴェンの第九を好演している(東京芸術劇場)。2021年(令和3年)、100周年としてベートーヴェン交響曲第5番「運命」をサントリーホールにて好演した後、2023年(令和5年)に150回定期を迎え、マラー交響曲第1番「巨人」を東京芸術劇場にて好演した。

### 多摩キャンパス 交通アクセス



京王線めじろ台駅からバスで約13分  
JR横浜線相模原駅からバスで約13分  
JR中央線西八王子駅からバスで約25分